

牧師所感： 信仰を持たない聖書学者

— 池澤夏樹氏、秋吉輝雄氏の対談 —

筆者は日本の聖書について博学であり、信仰は表明しておられていないがキリスト教の教典である聖書について専門知識を持っておられる池澤夏樹氏を紹介する。筆者が数年前『ぼくたちが聖書について知りたかったこと』（小学館文庫）の著作を読んで感銘を受けた名作がある。

神学校で学んだことを忘れていて、再度記憶を蘇えさせて下さった優れた対談である。さて牧師の私達は、厳密な聖書研究はとても無理である。教会の“牧会”に時間が取られて、じっくり腰を落ち着かせて聖書を研究することが中々出来ない。

よって池澤夏樹氏と秋吉輝雄氏の聖書についての対談をお読みすることを紹介する。

第一部

聖書とは何か？

聖書はなぜ今日まで残ったのか？
朗誦によって聖性が保たれた
ヘブライ語には過去形がない
旧約聖書の「旧」とは何か？
セム・ハム語族のメンタリティー
「続編」「外典」とは？
「クーラーン」には翻訳がない
ユダヤ教における聖書の正典化
聖書に入れるか否かが問題となつた「雅歌」
キリスト教における聖書の正典化
「原罪」とは何か？
「エデンの園」は楽園ではない？
イエスが「最後の晚餐」で飲んだ
飲み物は？
神が最初に創ったのは何か？
「マルコ」のイエス像と「マタイ」
のイエス像
「マタイによる福音書」の系図
の意味
メシアとしてのイエス
対立したものをそのまま並置する古代ユダヤ人
語り物としての聖書
神の言葉を記す文字
聖書のリズム

第二部

ユダヤ人とは何者か？

ユダヤ人の定義とは？
ユダヤ人教師としてのイエス
世界宗教へと向かったキリスト教
ヤハウエによって結びついた宗教連合
「バビロン捕囚」の歴史的意味
「ヘブル＝ヘブライ」という名前
「イスラエル」という名前
「ユダ」という名前
民族のアイデンティティを保つための聖書
現代ユダヤ人の定義とは？
なぜ「イスラエル」共和国なのか？
伝統から切り離された現代ユダヤ人の語源は「数える」
神の名を口にしてはならない
誤読から生まれた「エホバ」
なぜ神は唯一なのか？
一神教を生んだヨシャ王の宗教改革
厳格な食生活は誤認から始まった？
「ルカによる福音書」におけるイエスの“脱ユダ化”
千石イエスと初期キリスト教団
カトリシズムと異端審問
ユダヤ人になるには？
新語の取り入れに苦労する現代
ヘブライ語
ユダヤ人のなかに流れる時間
イサクの奉獻とテロリストの心情
神の理不尽を問う「ヨブ記」
歴史の中の「ユダヤ」と「イスラエル」
連綿と続くディアスポラの伝統
日本人の他者意識とブーバーの
『我と汝』
日本人のユダヤ人像

第三部

聖書と現代社会

「六日戦争」に遭遇して
無時間の空間で対立するイスラエル
とパレスチナ
軍備放棄の思想に共感した「ピール
一団」
安息日に戦争をしてもよいか？
安息日に煙草を吸うには？
他人の家の夕飯は食べない
食のタブーと信仰の自由
現代に生きるトーラ（律法）
民族文学全集としての聖書
矛盾は矛盾のままに
『風土』と歴史記述
弁証法の起源
「おとめマリア」か「処女マリア」か？
聖書のなかの自然観・宇宙観
科学とキリスト教の役割
「科学」という名のバベルの塔
利子を取るのは不正なことか？
カルヴァニズムとネオリベラリズム
臓器移植とユダヤ教
エデンの園の「知恵の実」の正体
「永遠のいのち」は喜びなのか？
エバは「生きる源」
拡大された定冠詞としての神
アダムの以前に人はいたのか？
聖書の「原本」は存在するのか？
聖書のなかの女性たち
イエスをめぐるマリアたち
『ダ・ヴィンチコード』と真のイエス像
ユダの復権を促す「ユダの福音書」
「ユダの福音書」とグノーシス主義
エデンの園の蛇の弁明
人類の睿智が織り上げたタペストリー